



1995年『新世紀エヴァンゲリオン』テレビ放送開始。

『シン・ゴジラ』の大ヒットも記憶に新しい

庵野秀明が原作・脚本・総監督をつとめ、

錚々たるスタッフ・キャストが集結し、常に新しいファンを獲得、

25年に渡り人気を拡大し続けてきた。

そして2007年『エヴァンゲリオン新劇場版』シリーズがスタート。

『：序』『：破』『：Q』と続いてきた物語が

誰も知らない結末へと向かう。

単なるアニメーションの枠を超えた普遍的エンターテインメント、

『エヴァンゲリオン』の最後とは？

西暦2021年1月23日

最新作

『シン・エヴァンゲリオン劇場版：』

公開

これまでの『エヴァンゲリオン新劇場版』



映像はコチラ▼

エヴァンゲリオン新劇場版：序

EVANGELION:1.0 YOU ARE (NOT) ALONE.

未曾有の大災害“セカンドインパクト”の爪痕を残した地球——第3新東京市を目標して第4使徒が襲来し、人類の命運は特務機関ネルフに委ねられた。14歳の少年・碇シンジは、連れられたネルフ本部でエヴァンゲリオン初号機に乗り使徒と戦うことを強要される。言われるがまま初号機に乗りこんだシンジは使徒を撃退。エヴァ零号機のパイロット・綾波レイとともに、使徒迎撃の任につくが、やがて襲来した第6使徒は初号機に大損害をあたえる。葛城ミサトは、日本全土の電力を一カ所に集め初号機の陽電子砲で使徒を撃滅する“ヤシマ作戦”を立案。果たして人類の運命は？



約5分でわかる
『：序』は
コチラ
▼▼▼



エヴァンゲリオン新劇場版：破

EVANGELION:2.0 YOU CAN (NOT) ADVANCE.

北極にあるネルフの基地・ベータベースで発掘された第3使徒をエヴァ仮設5号機で倒す、真希波・マリ・イラストリアス。一方、日本には式波・アスカ・ラングレーとエヴァ2号機が到着し、第7使徒を撃滅した。そして第8使徒が衛星軌道上から飛来し、ネルフ本部を襲撃。3機のエヴァが連携する作戦でこれを迎え撃ち、孤立気味だったアスカも仲間の存在に目覚めはじめる。ところが、起動実験中のエヴァ3号機が第9使徒に乗り取られてしまう。迎撃に出たシンジは、その中に乗るのがアスカと知り戦慄する。ゲンドウは初号機の制御をダミーシステムに切り換え、3号機との戦闘を始めた……。



約5分でわかる
『：破』は
コチラ
▼▼▼



エヴァンゲリオン新劇場版：Q

EVANGELION:3.0 YOU CAN (NOT) REDO.

14年の歳月を経て目覚めたシンジは、ミサトら元ネルフ職員が新たなクルーを加えて結成した反ネルフ組織“ヴィレ”の戦艦AAAヴンダーにいた。初号機から発見されたのはシンジひとり、綾波レイはいなかった。だが、シンジ奪還のため急襲をしかけてきたEVA Mark.09からレイの声を聞いたシンジは、ヴンダーを去りネルフへと向かう。そこで出会った渚カヲルに導かれ、変わり果てた大地の姿を見たシンジは、レイを救済したことをきっかけに“ニア・サードインパクト”が起き、地球に甚大な被害を与えたことを知るのだった。



約5分でわかる
『：Q』は
コチラ
▼▼▼



ネルフ

国連直属の特務機関。エヴァを運用し使徒対策を主任務とする。本部は日本の第3新東京市、総司令官は碇ゲンドウ。世界各国に支部が存在する。



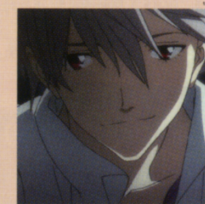
碇シンジ
(CV:緒方恵美)

本編の主人公。エヴァンゲリオン初号機パイロット。自身が引き起こした“ニア・サードインパクト”と、目の前で渚カヲルを失ったショックから立ち直れずにいる。



アヤナミレイ(仮称)
(CV:林原めぐみ)

シンジの母親、碇ユイの情報元を元に複製された「アヤナミシリーズ」のひとつ。



渚カヲル
(CV:石田彰)

月面で目覚め、ゼーレとも会話をした謎の少年。シンジのことを前から知っているようで、ネルフ本部に赴いたシンジの前に現れる。



碇ゲンドウ
(CV:立木文彦)

特務機関ネルフの最高司令官で、シンジの父親。「人類補完計画」を推進する……。



冬月コウゾウ
(CV:清川元夢)

ネルフ副司令官。ゲンドウのよき理解者として、常に側にいる。対等な関係を保ちつつ、時にゲンドウに意見具申する。



日向マコト
(CV:優希比呂)



青葉シゲル
(CV:子安武人)



伊吹マヤ
(CV:長沢美樹)



鈴原サクラ
(CV:沢城みゆき)



高雄コウジ
(CV:大塚明夫)



長良スミレ
(CV:大原さやか)



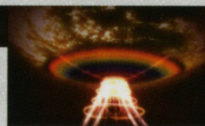
多摩ヒデキ
(CV:勝杏里)



北上ミドリ
(CV:伊瀬茉莉也)

セカンドインパクト

物語の15年前、人類の半数を死に至らしめた地球規模の大災害。



使徒

第3新東京市ネルフ本部を目標して襲来する敵性生命体の総称。その形態や能力は多種多様である。



ゼーレ

ネルフの背後で運営と意志決定を行う秘密組織。



エヴァンゲリオン

使徒に対抗可能な人類唯一の戦力として、世界各国のネルフで開発・建造された汎用ヒト型決戦兵器。人造人間エヴァンゲリオン」の総称。だが、その出自と目的には多くの謎が秘められている。



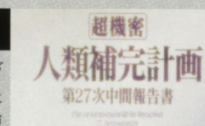
第3新東京市

使徒を迎撃するために建設された要塞都市。ビルは地下に収納可能で、ミサイル、機関砲などの武器やエヴァのサポート設備をもつ。



人類補完計画

ゼーレと碇ゲンドウが推進する謎のプロジェクト。人類進化の根源に関わる変化を推進しようとしているようだ……。



Keyword

庵野秀明 Filmography		
1988年	10月7日	『トップをねらえ!』(オリジナルビデオアニメーション)
1990年	4月13日	『ふしぎの海のナディア』(テレビアニメーション)
1995年	10月4日	『新世紀エヴァンゲリオン』(テレビアニメーション)
1997年	3月15日	『新世紀エヴァンゲリオン劇場版 シト新生』(劇場用アニメーション映画)
	7月19日	『新世紀エヴァンゲリオン劇場版 Air／まごころを、君に』(劇場用アニメーション映画)
1998年	1月10日	『ラブ&ポップ』(劇場用実写映画)
	3月7日	『新世紀エヴァンゲリオン劇場版 DEATH(TRUE) ² ／Air／まごころを、君に』(劇場用アニメーション映画)
	10月2日	『彼氏彼女の事情』(テレビアニメーション)
2000年	12月7日	『式日』(劇場用実写映画)
2004年	5月29日	『キューティーハニー』(劇場用実写映画)
	7月24日	『Re:キューティーハニー』(オリジナルビデオアニメーション)
2007年	9月1日	『エヴァンゲリオン新劇場版:序』(劇場用アニメーション映画)
2009年	6月27日	『エヴァンゲリオン新劇場版:破』(劇場用アニメーション映画)
2012年	11月17日	『エヴァンゲリオン新劇場版:Q』(劇場用アニメーション映画)
2016年	7月29日	『シン・ゴジラ』(劇場用実写映画)

シリーズ累計
興収113億円

興行収入82.5億円

そして…

2018年	7月20日	『シン・エヴァンゲリオン劇場版』特報1を劇場でサプライズ発表 Twitterトレンドを占拠
2019年	7月6日	「0706作戦」にて 『シン・エヴァンゲリオン劇場版 AVANT1(冒頭10分40秒00コマ)0706版』を公開 パリ・LA・上海・日本5都市6か所世界150万人が熱狂
2021年	1月23日	『 シン・エヴァンゲリオン劇場版: 』公開

庵野秀明から目が離せない

(ジャーナリスト・数土直志)

有史以来、音楽、文学、絵画、舞踏……数多くのカルチャーが生まれた。そのなかで限られた作品だけが傑作として歴史に刻まれる。それらに匹敵する作品に『エヴァンゲリオン』を挙げるのは決して間違いでない。アニメーション映画という今日的な媒体で現代社会、文化に影響力を与え続けているからだ。その生みの親である庵野秀明もまた歴史に残る存在だ。いくつものイメージを重ねることで、鑑賞者を思考の淵に引き寄せる卓越した能力。そして「同時代性」。90年代後半に『新世紀エヴァンゲリオン』がアニメ・映像の枠を超え社会現象を巻き起こしたのは、当時の若者が持っていた時代の気持ちを提示したからだ。2007年より『新劇場版』シリーズとして再構築をスタートしたが、その展開がTVシリーズと大きく

異なるのは「同時代性」の点で必然なのである。新たな世代から支持される理由でもある。歴史的なアイコンをアップデートするのは『エヴァンゲリオン』だけでない。『シン・ゴジラ』では、1954年の第1作にあったゴジラ の存在そのものへの恐怖を2016年に甦らせた。『エヴァンゲリオン』『ゴジラ』にあるのは回顧趣味では決していない。むしろ傑作が持つ普遍性を現代に抉り出す才能ゆえだ。そうしたなか『新劇場版』シリーズが長年の歴史にピリオドを打つ。歴史的な瞬間だ。僕らはかつてない作品の終りの誕生の場に居合わせる幸運を手をしている。なんと幸せな時代に生きているのか。2021年1月23日に、多くの人が劇場でその喜びを噛みしめるに違いない。

企画・原作・脚本／庵野秀明

総作画監督／錦織敦史
作画監督／井関修一、金世俊、浅野直之、田中特賢、新井浩一

副監督／谷田部透湖、小松田大全

デザインワークス／山下いくと、淵原敏明、コヤマシゲト、安野モヨコ、高倉武史、渡部隆

CGIアートディレクター／小林浩康
CGI監督／鬼塚大輔
3Dアニメーションディレクター／松井祐亮
3Dモデリングディレクター／小林学
3Dテクニカルディレクター／鈴木貴志
3Dルックデヴディレクター／岩里昌剛
2DCGディレクター／座間香代子

動画検査／村田康人

色彩設計／菊地和子(Wish)

美術監督／串田達也(でほぎやらりー)

撮影監督／福士亨(T2studio)
特技監督／山田豊徳

編集／辻田恵美

音楽／鷺巣詩郎

音響効果／野口遼
録音／住谷真
台詞演出／山田陽(サウンドチーム・ドンファン)

総監督助手／轟木一騎

制作統括プロデューサー／岡島隆敏
アニメーションプロデューサー／杉谷勇樹
設定制作／田中真人
プリヴィズ統括制作／川島正規

制作／スタジオカラー
配給／東宝、東映、カラー
宣伝／カラー
製作／カラー

エグゼクティブ・プロデューサー／緒方智幸

コンセプトアートディレクター／前田真宏

監督／鶴巻和哉、中山勝一

総監督／庵野秀明

evangelion.co.jp

©カラー



西暦2021年1月23日公開



終劇